

2025年度 事業計画書

特定非営利活動法人Watoto wa Africa

1 事業実施の方針

設立初年度においては、まず活動基盤の整備を最優先とする。具体的には、法人の目的や理念を広く周知し、会員や支援者、協力団体とのネットワークを構築する。また、試行的に小規模の事業やイベントを実施し、対象者のニーズを把握するとともに、運営規程や会計・報告体制を整え、組織運営の基盤を固める。さらに、助成金や寄付の獲得に努め、持続的に活動を行うための資金調達体制を確立する。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【 305 】千円)

| 定款に記載された事業名 | 事業内容 | 日時 | 場所 | 従事者人数 | 受益対象者範囲 | 受益対象者人数 | 事業費(千円) |
|--|--|-----------------|----------------|-------|--------------|---------|---------|
| (1) アフリカ諸国（特にケニア共和国）における子ども、家族、コミュニティに関する総合的支援事業 | 障害のある子どもと家族に対してリハビリに対する聞き取り（質的調査） 本法人職員がケニアにて、ゲデイボ村に住む知的障害、身体障害を持つ子どもの家族に対して、家族構成、収入源、子どもの学習状況、リハビリ状況、近所との関係、村長からのサポート等について今後の支援方針の参考とする。 調査結果に基づき、ケニア人スタッフがソーシャルワークを行う。ケニアでは障害者登録する際に出生届が必要であることから、出生届の取得、障害者登録、特別支援学校・学級に入学するためのアセスメントセンターの同行等を実施する。また、同居する家族について障害のある子どものケニアについて知識や考え方について知識共有を行う。必要に応じて、心理的なカウンセリングをケニア人スタッフが行う。 | 法人設立後、2026年1-2月 | マチャコス県マシーゲデイボ村 | 3 | 障害のある子どもの保護者 | 10名 | 230千円 |
| (2) アフリカ諸国（特にケニア共和国）における子ども、家族、コミュニティに関する普及啓発事業 | ゲデイボ村にある3つ（50-70名）の障害者グループに対して、障害者や障害のある子どもに対する身体的特徴や支援についての勉強会を年に2回実施する。ケニア人スタッフやケニアの外部講師によって実施する。 | 法人設立後、2026年1-2月 | マチャコス県マシーゲデイボ村 | 3 | 事業実施者 | 70名 | 30千円 |

| | | | | | | | |
|--|---|----------------------------------|------------------------|----------|-------------------------------|-------------|-------------|
| <p>(3) アフリカ諸国（特にケニア共和国）における子ども、家族、コミュニティに関する調査研究事業</p> | <p>障害のある子どもに対して教育に関する聞き取り。ケニア人スタッフによる村長や特別支援学校・学級、アセスメントセンターへ訪問して、専門家から情報を得る。特別支援学校や学級の学費や通学路の確認を行う。教育に関する情報をレポートにまとめる。ゲデイボ村で進学を希望する家族及び村長、障害者グループに情報共有を行う。</p> | <p>法人設立後、 2026年 1-2月</p> | <p>マチャコス県マシーゲデイボ村</p> | <p>3</p> | <p>障害のある子どもの保護、障害者グループ、村長</p> | <p>20名</p> | <p>20千円</p> |
| <p>(4) 日本国内外での啓発イベント、国際交流及び学習支援事業</p> | <p>ケニアの障害のある子どもと家族について啓発するための講演会。障害があることでどのような偏見や差別を受けることがあるのか、障害の種類によってどのような生活の違いが出てくるのか。日本とケニアの社会福祉サービスの違いについて。</p> | <p>2026年 2-3月、 4-5月</p> | <p>東京都（両国予定）/オンライン</p> | <p>3</p> | <p>アフリカや障害のある子ども、協力に心のある方</p> | <p>20名</p> | <p>10千円</p> |
| <p>(2) アフリカ諸国（特にケニア共和国）における子ども、家族、コミュニティに関する普及啓発事業</p> | <p>ケニアの障害のある子どもや家族について啓発をする写真展示会。マチャコス県マシーゲデイボ村に住む障害のある子どもと家族、また村の人々の生活を紹介する。来場者に視覚的にケニアにおける生活を理解してもらい、活動の意義について理解してもらおう。</p> | <p>2026年 2-3月</p> | <p>東京都/JICA市ヶ谷</p> | <p>3</p> | <p>アフリカや障害のある子ども、協力に心のある方</p> | <p>100名</p> | <p>15千円</p> |
| <p>(4) 日本国内外での啓発イベント、国際交流及び学習支援事業</p> | <p>アフリカを含むケニアの村（ゲデイボ村）に生活や文化に関する紹介。マチャコス県マシーゲデイボ村に住む障害のある子どもと家族、また村の人々の生活を紹介する。来場者に視覚的にケニアにおける生活を理解してもらい、活動の意義について理解してもらおう。</p> | <p>年中</p> | <p>オンライン</p> | <p>3</p> | <p>アフリカや障害のある子ども、協力に心のある方</p> | <p>100名</p> | <p>0千円</p> |
| <p>(5) 災害その他の緊急事態に対する支援事業</p> | <p>ケニアを含むアフリカ地域の災害に関する調査・意見交換。昨年発生した洪水時の村の状況や対応について聞き取りを行う。障害のある子どもと家族が災害時に直面する特有の課題（避難の困難さ、医療アクセス、介助者の不足等）について、説明会を障害者グループに行う。</p> | <p>2026年 5月</p> | <p>マチャコス県マシーゲデイボ村</p> | <p>3</p> | <p>障害者グループ</p> | <p>50名</p> | <p>0千円</p> |

2026年度 事業計画書

特定非営利活動法人Watoto wa Africa

事業実施の方針

二年目においては、初年度の成果と課題を踏まえ、事業の本格的な展開を図る。活動地域や対象者を拡大し、事業内容の充実と質的向上を目指す。参加者や関係者からのフィードバックを反映してプログラムを改善し、より大きな社会的効果を生み出す体制を整えるとともに、行政・企業・他団体との連携を強化し、地域に根ざした活動基盤を築く。また、積極的に情報発信を行い、支援者・協力者の拡大を図る。加えて、中長期的な事業展望を具体化し、三年目以降の成長戦略を明確にすることで、法人としての持続的発展を目指す。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【 295 】千円)

| 定款に記載された事業名 | 事業内容 | 日時 | 場所 | 従事者人数 | 受益対象者範囲 | 受益対象者人数 | 事業費(千円) |
|--|---|----------|-----------------|-------|----------------------|---------|---------|
| (2) アフリカ諸国（特にケニア共和国）における子ども、家族、コミュニティに関する普及啓発事業 | ゲデイボ村にある3つ（50-70名）の障害者グループに対して、障害者や障害のある子どもに対する身体的特徴や支援についての勉強会を年に2回実施する。ケニア人スタッフやケニアの外部講師によって実施する。 | 2025年6月 | マチャコス県マシー市ゲデイボ村 | 3 | 障害のある子どもの保護者、障害者グループ | 70名 | 230千円 |
| (3) アフリカ諸国（特にケニア共和国）における子ども、家族、コミュニティに関する調査研究事業 | 障害のある子どもに対してリハビリに関する聞き取り。 ケニア人スタッフによる村長やリハビリ施設、NGOへ訪問して、専門家から情報を得る。リハビリの内容や料金確認を行う。 リハビリに関する情報をレポートにまとめる。ゲデイボ村で希望する家族及び村長、障害者グループに情報共有を行う。 | 2026年10月 | マチャコス県マシー市ゲデイボ村 | 1 | 障害のある子どもの保護者 | 10名 | 10千円 |
| (1) アフリカ諸国（特にケニア共和国）における子ども、家族、コミュニティに関する総合的支援事業 | 障害のある子どもと家族に対してリハビリに対する聞き取り（質的調査） 本法人職員がケニアにて、ゲデイボ村に住む知的障害、身体障害を持つ子どもと家族に対して、家族構成、収入源、子どもの学習状況、リハビリ状況、近所との関係、村長からのサポート等について今後の支援方針の参考とする。 調査結果に基づき、ケニア人スタッフがソーシャルワークを行う。ケニア | 2026年10月 | マチャコス県マシー市ゲデイボ村 | 1 | 障害のある子どもの保護者 | 30名 | 30千円 |

| | | | | | | | |
|-------------------------------|---|------------------------|--------------------|---|-------------------------|------|------|
| | では障害者登録する際に出生届が必要であることから、出生届の取得、障害者登録、特別支援学校・学級に入学するためのアセスメントセンターの同行等を実施する。また、同居する家族について障害のある子どものケアについて知識や考え方について知識共有を行う。必要に応じて、心理的なカウンセリングをケア人スタッフが行う。 | | | | | | |
| (4)日本国内外での啓発イベント、国際交流及び学習支援事業 | ケニアの障害のある子どもと家族について啓発するための講演会 マチャコス県マシーゲデイボ村に住む障害のある子どもと家族、また村の人々の生活を紹介する。来場者に視覚的にケニアにおける生活を理解してもらい、活動の意義について理解してもらう。 | 2026年 2-3月、 4-5月 | 東京都/ オンライン | 3 | アフリカや障害のある子ども、国際協力に関する方 | 30名 | 10千円 |
| (4)日本国内外での啓発イベント、国際交流及び学習支援事業 | アフリカを含むケニアの村（ゲデイボ村）に生活や文化に関する紹介 マチャコス県マシーゲデイボ村に住む障害のある子どもと家族、また村の人々の生活を紹介する。来場者に視覚的にケニアにおける生活を理解してもらい、活動の意義について理解してもらう。 | 2026年 2-3月 | 東京都 JICA 市ヶ谷 | 3 | アフリカや障害のある子ども、国際協力に関する方 | 100名 | 15千円 |
| (5) 災害その他の緊急事態に対する支援事業 | ケニアを含むアフリカ地域の災害に関する調査・意見交換 障害のある子どもと家族が災害時に直面する特有の課題（避難の困難さ、医療アクセス、介助者の不足等）について、説明会を障害者グループに行う。 | 2025年9月～ 2026年5月 | マチャコス県マシーゲデイボ村 | 3 | 事業実施者 | 30名 | 0千円 |

2025年度 活動予算書（その他事業がない場合）

特定非営利活動法人 Watoto Wa Africa

（単位：円）

| 科目 | 金額 | 小計・合計 |
|--|---------|----------------|
| 【A】 経常収益 | | |
| 1 受取会費 | | 100,000 |
| 正会員受取会費 | 100,000 | |
| 賛助会員受取会費 | | |
| 2 受取寄附金 | | 300,000 |
| 受取寄附金 | 300,000 | |
| 施設等受入評価益 | | |
| 3 受取助成金等 | | 0 |
| 受取補助金 | | |
| 4 事業収益 | | 10,000 |
| (1) アフリカ諸国（特にケニア共和国）における子ども、家族、コミュニティに関する総合的支援事業 | 10,000 | |
| (2) アフリカ諸国（特にケニア共和国）における子ども、家族、コミュニティに関する普及啓発事業 | | |
| (3) アフリカ諸国（特にケニア共和国）における子ども、家族、コミュニティに関する調査研究事業 | | |
| (4) 日本国内外での啓発イベント、国際交流及び学習支援事業 | | |
| (5) 災害その他の緊急事態に対する支援事業 | | |
| 5 その他の収益 | | 0 |
| 受取利息 | | |
| 経常収益計 | | 410,000 |
| 【B】 経常費用 | | |
| 1 事業費 | | |
| (1) 人件費 | | 0 |
| 給料手当 | 0 | |
| 役員報酬 | 0 | |
| (2) その他経費 | | 305,000 |
| 会議費 | 28,000 | |
| 旅費交通費（日本ケニア渡航費を含む） | 240,000 | |
| 消耗品 | 5,000 | |
| 印刷製本費 | 2,000 | |
| 通信運搬費 | 0 | |
| 外部委託費（ケニア人ソーシャルワーカー、補助スタッフ等々） | 20,000 | |
| 会議費 | 10,000 | |
| 事業費計 | | 305,000 |
| 2 管理費 | | |
| (1) 人件費 | | 0 |
| 役員報酬 | 0 | |
| 給料手当 | 0 | |
| (2) その他経費 | | 20,800 |
| 消耗品費 | | |
| 地代家賃 | 20,800 | |
| 通信運搬費 | | |
| 印刷製本費 | | |
| 旅費交通費 | | |
| 会議費 | | |
| 管理費計 | | 20,800 |
| 経常費用計 | | 325,800 |
| 当期経常増減額【A】－【B】・・・① | | 84,200 |
| 【C】 経常外収益 | | |
| 固定資産売却益 | | |
| 過年度損益修正益 | | |
| 経常外収益計 | | 0 |
| 【D】 経常外費用 | | |
| 固定資産売却損 | | |
| 災害損失 | | |
| 過年度損益修正損 | | |
| 経常外費用計 | | 0 |
| 当期経常外増減額【C】－【D】・・・② | | 0 |
| 税引前当期正味財産増減額①+②・・・③ | | 84,200 |
| 法人税、住民税及び事業税・・・④ | | 70,000 |
| 設立時正味財産額・・・⑤ | | 0 |
| 次期繰越正味財産額③－④+⑤ | | 14,200 |

2026年度 活動予算書（その他事業がない場合）

特定非営利活動法人 Watoto Wa Africa

（単位：円）

| 科目 | 金額 | 小計・合計 |
|--|---------|----------------|
| [A] 経常収益 | | |
| 1 受取会費 | | 120,000 |
| 正会員受取会費 | 120,000 | |
| 賛助会員受取会費 | | |
| 2 受取寄附金 | | 250,000 |
| 受取寄附金 | 250,000 | |
| 施設等受入評価益 | | |
| 3 受取助成金等 | | 0 |
| 受取補助金 | | |
| 4 事業収益 | | 15,000 |
| (1) アフリカ諸国（特にケニア共和国）における子ども、家族、コミュニティに関する総合的支援事業 | 15,000 | |
| (2) アフリカ諸国（特にケニア共和国）における子ども、家族、コミュニティに関する普及啓発事業 | | |
| (3) アフリカ諸国（特にケニア共和国）における子ども、家族、コミュニティに関する調査研究事業 | | |
| (4) 日本国内外での啓発イベント、国際交流及び学習支援事業 | | |
| (5) 災害その他の緊急事態に対する支援事業 | | |
| 5 その他の収益 | | 0 |
| 受取利息 | | |
| 経常収益計 | | 385,000 |
| [B] 経常費用 | | |
| 1 事業費 | | |
| (1) 人件費 | | 0 |
| 給料手当 | 0 | |
| 役員報酬 | 0 | |
| (2) その他経費 | | 295,000 |
| 会議費 | 8,000 | |
| 旅費交通費（日本ケニア渡航費を含む） | 250,000 | |
| 消耗品 | 5,000 | |
| 印刷製本費 | 2,000 | |
| 通信運搬費 | 0 | |
| 外部委託費（ケニア人ソーシャルワーカー、補助スタッフ等々） | 20,000 | |
| 会議費 | 10,000 | |
| 事業費計 | | 295,000 |
| 2 管理費 | | |
| (1) 人件費 | | 0 |
| 役員報酬 | 0 | |
| 給料手当 | 0 | |
| (2) その他経費 | | 20,800 |
| 消耗品費 | | |
| 地代家賃 | 20,800 | |
| 通信運搬費 | | |
| 印刷製本費 | | |
| 旅費交通費 | | |
| 会議費 | | |
| 管理費計 | | 20,800 |
| 経常費用計 | | 315,800 |
| 当期経常増減額【A】－【B】・・・① | | 69,200 |
| [C] 経常外収益 | | |
| 固定資産売却益 | | |
| 過年度損益修正益 | | |
| 経常外収益計 | | 0 |
| [D] 経常外費用 | | |
| 固定資産売却損 | | |
| 災害損失 | | |
| 過年度損益修正損 | | |
| 経常外費用計 | | 0 |
| 当期経常外増減額【C】－【D】・・・② | | 0 |
| 税引前当期正味財産増減額 ①+②・・・③ | | 69,200 |
| 法人税、住民税及び事業税・・・④ | | 70,000 |
| 前期繰越正味財産額・・・⑤ | | 14,200 |
| 次期繰越正味財産額 ③－④+⑤ | | 13,400 |